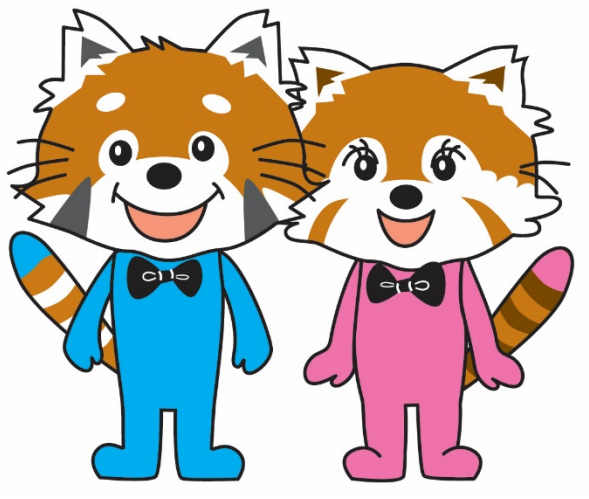
鯖江市の環境保全への取組

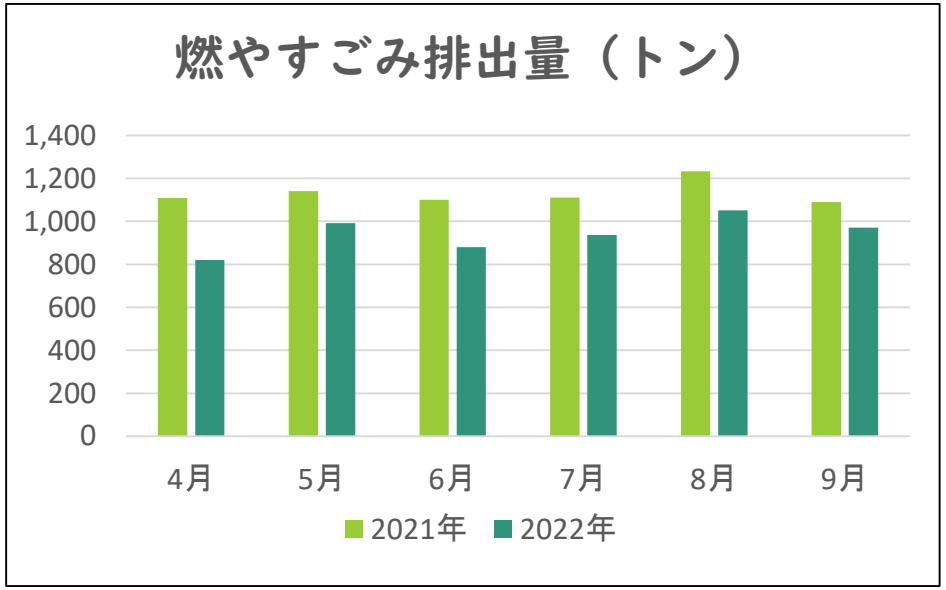


11月2日
環境省との意見交換会

鯖江市の事業

燃やすごみの減量化

- ごみ袋の記名式制度を導入（令和４年４月）
- 市内全１５４町内等を対象としたごみ分別啓発のための説明会を実施
- 雑がみの分別を習慣づけるための紙袋の配布
- 前年度比で燃やすごみを約１７％削減



卒FIT（令和３年１１月１日～）

- 一般家庭の太陽光発電固定買取期間終了後の再エネ電力を、公共施設で活用
- 現在約１３０世帯から同意を得て、環境教育センターの１００％、市庁舎の平均約３５％の電力を賄っている

鯖江市の事業

給食生ごみゼロ事業

・今年度、市内小学校に業務用生ごみ処理槽「トラッシュ」を設置し、給食残渣を毎月約125kg処理。今後、全小学校に設置予定



家庭の生ごみゼロ事業

・家庭用トラッシュやコンポスト等、生ごみ処理容器の無料モニター実施

広葉樹の植樹（市内の山林に3,000本/年）

・小学３年生がどんぐりの実を拾う
・小学４年生が種を植える
・小学５年生が育てる
・小学６年生が植える　　（１０年前から継続）



鯖江市の事業

バイオ炭の作成

・剪定枝など、これまで燃やすしかなかった木の枝を原料に炭を作り、地中に埋めることでＣＯ２を半永久的に封じ込めることが出来る
・農地にすき込むことで、土壌改良や肥料としても見込める



ウォータースタンドの設置

・マイボトル持参を推奨し、ペットボトル使用量を削減
・市役所本庁舎およびスポーツ施設に設置



鯖江市の事業

LED化事業によるCO2削減

・防犯灯および街路灯あわせて約１万灯をリース方式にて導入し、ＣＯ２排出量を約３分の１に削減
・小学校１２校中７校、中学校３校中２校の屋内運動場をＬＥＤ化



COOL　CHOICE宣言

・公民館等および小学校においてＣＯ２排出抑制について啓発。内容を落語で伝えることにより、子どもでも分かりやすく、また家庭で取組みやすいような環境教育を実施
・地域イベントにおいて環境に関するブースの設営



鯖江市の事業

こどもエコクラブ活動

- 小中学生の環境教育を推進し、子ども達の環境への意識の高揚を図る
- 今年度は市内全小学校の２７団体、８６５人が参加し、環境についての勉強会や草花の栽培、生き物の観察、飼育など多彩な活動に参加し、市としても活動を支援している
- 年度末に子ども達の活動の記録の展示や、内容を発表する機会を用意し、他校の活動を参考に、次年度に繋げる取組みを行っている



ＰＲ活動

環境フェアの開催や各種イベントへ参加

・市内外企業とＮＰＯによる環境活動の展示やワークショップを通じ、家族ぐるみで環境について学習し、特に子どもが環境について興味を持ち、考える機会を提供

・ＳＤＧｓに関する展示を行い、ＣＯ２削減はもとより、ごみ削減や再資源化について啓発



さばえSDGs推進センター

・鯖江市のＳＤＧｓ達成に向けて設置された施設

・ＳＤＧｓカードゲーム講座を通じた環境学習の場の提供や、フェスに出店するなど環境に関する啓発を積極的に行っている



鯖江市脱炭素ロードマップ

鯖江市脱炭素ロードマップ策定中

・令和3年にゼロカーボンシティ宣言
・2050年までにゼロカーボンシティを実現した鯖江市の望ましい姿を描き、その達成に向け地域課題との同時解決を目指す